

# 目黒区立小中学校における プール施設整備の考え方

目黒区教育委員会  
令和5年3月

## 目次

### 第一章 小中学校における水泳授業の現状

|   |                     |   |
|---|---------------------|---|
| 1 | はじめに                | 1 |
| 2 | 水泳指導の目的と学習指導要領の位置付け | 1 |
| 3 | 水泳指導の現状と課題          | 2 |
|   | (1) 水泳指導の実施状況       | 2 |
|   | (2) 天候による影響         | 3 |
|   | (3) 学校での水泳指導についての課題 | 4 |
|   | (4) その他の課題          | 4 |
| 4 | 区立小中学校のプール施設の現状と課題  | 5 |
|   | (1) 学校プールの設置状況      | 5 |
|   | (2) 学校プールの維持管理      | 6 |
|   | (3) 施設面での課題         | 6 |

### 第二章 学校外プールの活用

|   |                                    |    |
|---|------------------------------------|----|
| 1 | 他自治体での取り組み                         | 7  |
|   | (1) 学校外プールを活用している自治体               | 7  |
|   | (2) 中学校では水泳指導を行わない自治体              | 8  |
| 2 | 区内のプール施設                           | 9  |
|   | (1) 地区プール                          | 9  |
|   | (2) 民間プール                          | 9  |
| 3 | 学校外プールを活用した水泳指導の試験実施               | 11 |
|   | (1) 試験実施の概要                        | 11 |
|   | (2) 水泳指導                           | 12 |
|   | (3) 学校からプール施設までの引率                 | 12 |
|   | (4) 委託経費                           | 12 |
|   | (5) 試験実施後のアンケート結果                  | 13 |
|   | (6) 試験実施を踏まえた効果と課題                 | 19 |
| 4 | コスト検討                              | 20 |
|   | (1) プール施設の建設費                      | 20 |
|   | (2) 屋外プールの維持管理費                    | 20 |
|   | (3) 地区プール（小学校併設校温水プール）の維持管理費用      | 21 |
|   | (4) 民間プールを活用した場合の費用                | 21 |
|   | (5) 自校プールを所有した場合と民間プールを活用した場合の費用比較 | 22 |
| 5 | 移動方法の検討                            | 23 |
|   | (1) 徒歩移動                           | 23 |
|   | (2) バス移動                           | 23 |
|   | (3) 移動における安全面の課題                   | 23 |

### 第三章 学校プール施設整備の考え方

|   |                            |    |
|---|----------------------------|----|
| 1 | 水泳授業に対する基本的な考え方            | 25 |
| 2 | 民間事業者と連携した水泳指導             | 25 |
| 3 | 学校におけるプール整備                | 25 |
|   | (1) 今後の学校施設更新におけるプール整備の考え方 | 25 |
|   | (2) 小学校                    | 26 |
|   | (3) 中学校                    | 26 |
|   | (4) 地区プールが併設している小学校        | 26 |
|   | (5) 学校プールの共用化              | 26 |
|   | (6) 学校プールを設置しないことによる敷地の活用  | 27 |
| 4 | 教員の役割について                  | 27 |
| 5 | 学校にプールがないことへの対応            | 27 |
|   | (1) 夏季水泳指導                 | 27 |
|   | (2) 学校開放                   | 27 |
|   | (3) 災害時の生活用水等の確保           | 28 |
| 6 | 建て替え工事中の水泳指導について           | 28 |

#### 【巻末資料】

|       |                      |    |
|-------|----------------------|----|
| 参考資料1 | 学習指導要領（平成29年告示）からの抜粋 | 29 |
| 参考資料2 | 他自治体のプール検討等          | 33 |
|       | 1 参考事例               | 33 |
|       | 2 参考資料               | 33 |

## 第一章 小中学校における水泳授業の現状

### 1 はじめに

日本は国土のまわりを海で囲まれている島国で、夏になると多くの人が海や川で水辺に親しみます。一方で、水辺を身近に楽しめる環境は、水難事故という危険とも隣り合わせであるといえます。

全国で水泳指導が実施されることとなったきっかけは、昭和30年の小学生100人を含む168人が溺死した船舶事故という説もありますが、1960年代以降に東京オリンピックの開催があり、1950年代には20%に満たなかった学校プールの設置率が2006年（平成18年）には小学校で87.0%、中学校で72.4%となっています。（※1）現在、目黒区でも、すべての区立小中学校にプールを設置しています。

しかし、各小中学校にあるプールの多くは屋外プールであり、近年では猛暑による熱中症のおそれや天候の影響により計画的な水泳指導が困難になりつつあります。また、維持管理や水質管理などの業務が教員の負担につながっています。

また、今後、学校施設を更新していく際には、狭小な敷地の多い目黒区の学校において、プールを設置するスペースが新校舎の計画に大きな影響を与えます。

このような状況から、目黒区教育委員会としては学校教育における水泳指導の必要性を認識しながら、水泳指導の充実、教員負担の軽減、維持管理コストに着目し、今後の学校プールの在り方について検討を進めています。

※1 平成19年文部科学白書第8章第5節図表2-8-10

### 2 水泳指導の目的と学習指導要領の位置付け

水泳はバランスの取れた全身運動であり、小中学校の時期に基本的な水泳技術を習得することは、児童・生徒の身体的な発達を促す教育的な効果が期待されるとともに、水難事故防止の観点からも有効といえます。また、スキューバダイビングなどのマリンスポーツを楽しむことや、生涯スポーツとして健康づくりにもつながります。

学習指導要領においては、発達段階に応じた水泳指導の目標を定めており、小学校では、低学年の「水の中を移動する運動遊び、もぐる・浮く運動遊び」、中学年の「浮いて進む運動、もぐる・浮く運動」、高学年の「クロール、平泳ぎ、安全確保につながる運動」で幅広い水泳に関する動きの学習を行うこととしています。

また、中学校では、第一学年及び第二学年には泳法を身に付けることをねらいとした学習を行い、第三学年では効率的に泳ぐことをねらいとした学習を行うこととしています。

ただし、学習指導要領には、適切な水泳場の確保が困難な場合には行わないことができる旨の記載もあり、施設面の課題から水泳指導を行わない自治体もあります。

現在、目黒区立小中学校では、学習指導要領に沿って各小中学校に設置してある学校プールで水泳指導を行っています。

### 3 水泳指導の現状と課題

#### (1)水泳指導の実施状況

目黒区での水泳指導は、年間10単位時間程度を基本とし、概ね6月から9月にかけて実施しています。(小学校は2時間連続で5回程度、中学校は1時間ごとに10回程度の実施)

各学校では、授業時数を確保するため、余裕を持って水泳指導の実施予定日を確保しながら、できるだけ基準となる年間10時間を確保している状況です。また、多くの学校で水難事故防止の観点から着衣泳を取り入れています。

なお、コロナ禍の影響から、令和2年度は全小中学校で水泳指導を中止し、令和3年度は、感染症対策を図りながら実施しました。

表1-3-1 令和4年度の水泳指導期間と実施授業時数

| 学校               | 授業開始  | 最終日   | 授業時数                  |
|------------------|-------|-------|-----------------------|
| 小学校<br>(屋外プール)   | 6月13日 | 9月9日  | 6～12単位時間<br>(平均8.7)   |
| 小学校<br>(屋内温水プール) | 6月6日  | 9月9日  | 10～18単位時間<br>(平均12.4) |
| 小学校<br>(学校外プール)  | 5月27日 | 11月9日 | 10単位時間<br>(平均10)      |
| 中学校              | 6月13日 | 9月30日 | 3～18単位時間<br>(平均8.4)   |



(2)天候による影響

水泳指導を実施する6月、7月、9月は梅雨時期や台風シーズンと重なっていることから雨天も多く、さらに近年の気候変動により、猛暑やゲリラ豪雨といった事象が以前よりも発生するようになってきています。

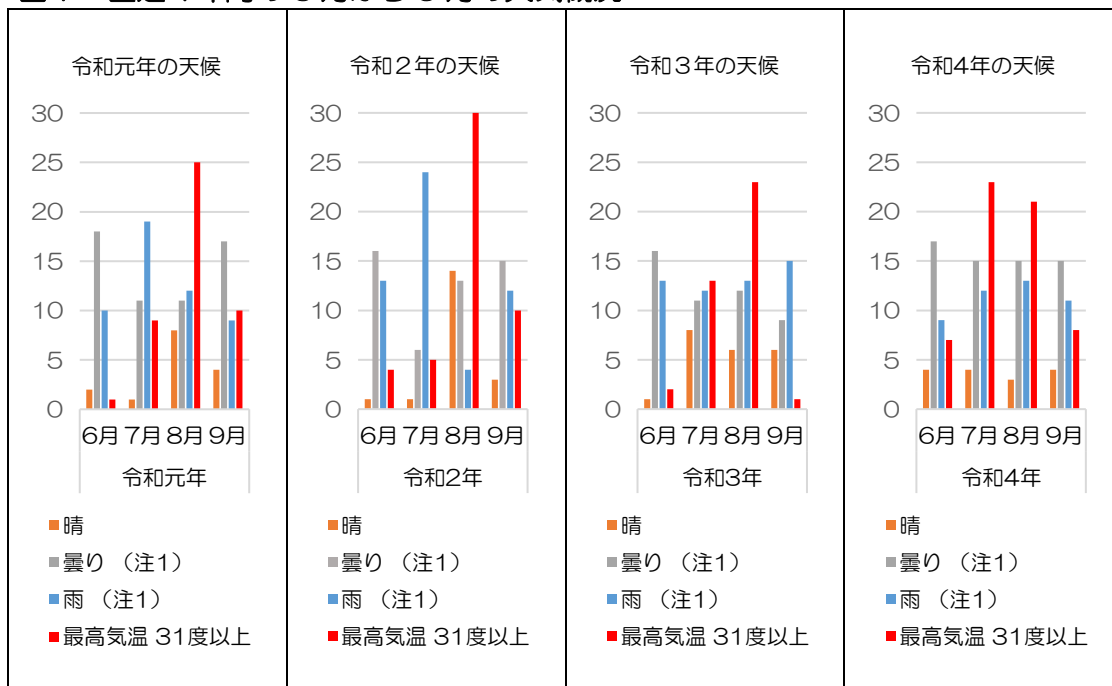
これにより各学校に設置している屋外プールでの計画的な授業実施が困難になっており、予定していた授業時数を確保できない場合があります。

表1-3-2 近年の梅雨入り・梅雨明け

| 年度              | 梅雨入り     | 梅雨明け      |
|-----------------|----------|-----------|
| 平成28年           | 6月5日ごろ   | 7月29日ごろ   |
| 平成29年           | 6月7日ごろ   | 7月6日ごろ    |
| 平成30年           | 6月6日ごろ   | 6月29日ごろ   |
| 令和元年（平成31年）     | 6月7日ごろ   | 7月24日ごろ   |
| 令和2年度※水泳授業実施せず  | 6月11日    | 8月1日ごろ    |
| 令和3年度※夏休み明け実施なし | 6月14日ごろ  | 7月16日ごろ   |
| 令和4年度           | 6月6日ごろ   | 6月27日ごろ   |
| （平年）            | （6月7日ごろ） | （7月19日ごろ） |

気象庁ホームページから抜粋して作成 [https://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/baiu/kako\\_baiu09.html](https://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/baiu/kako_baiu09.html)

図1 直近4年間の6月から9月の天気概況



※気象庁ホームページから6：00-18：00の天候データを抜粋して作成 上記時間帯で日中晴れた日を「晴」、一時的に曇りがあれば「曇り」、一時的に降雨があれば「雨」とした

※熱中症予防運動指針（公財日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」（2019）では、気温が31℃以上、WBGT28℃以上で「嚴重警戒（激しい運動中止）」に該当し、各学校では状況に応じて運動の中止を検討します。



### (3)学校での水泳指導についての課題

現在、目黒区では、各学校プールで教員が水泳指導を行っています。授業の際には、水泳指導と同時に安全管理に注意を払う必要があり、常にプールサイドや水中から監視を行っています。水泳指導については、泳力の個人差も大きく個別的な指導のほうが効果的な場合もありますが、学校の限られた人員においては、同時一斉指導が中心となってしまう、一人一人の能力にあった指導が困難な状況にあります。

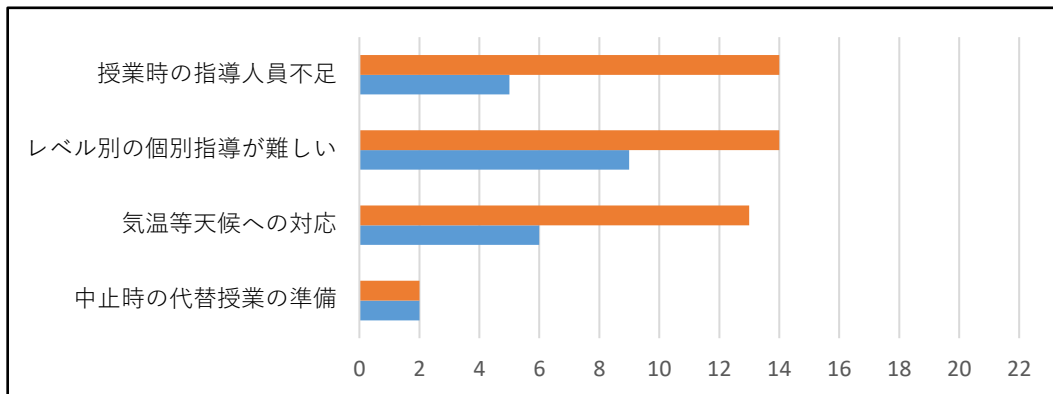
### (4)その他の課題

各学校に設置してある屋外プールでは、直射日光による日焼けや、周囲からののぞきなどの不安の声も聴かれます。そのため、ラッシュガードの着用や、プールサイドへの日よけ、目隠しの設置といった対応を行っています。

#### 水泳指導に関する学校アンケート

各小中学校に対して、水泳授業について感じている課題について、アンケート調査（令和3年10月実施）を行いました。

##### (選択式回答)



##### (自由記述欄)

- ・9月までの水泳指導を行うと、夏季休業期間にも水質管理が必要になる。
- ・夏季閉鎖期間中に塩素がなくなりコケが発生するため、ろ過装置の塩素タンクの容量を大きくしてほしい。
- ・施設（水槽、トイレ等）、設備（循環浄化装置等）の老朽化が進んでいる。
- ・2、3年前から熱中症指数を参照するようになり、暑くて入れない日がある。
- ・プール周辺の木から落ち葉が入るため、清掃を増やさなければならない。
- ・教室と離れているため移動が負担となっている。
- ・着替え等の時間を含めると満足な実施時間が取れない。

## 4 区立小中学校のプール施設の現状と課題

## (1) 学校プールの設置状況

現在、目黒区では全小中学校にプールを設置しています。そのうち、緑ヶ丘小学校、五本木小学校、碑小学校は屋内温水プールであり、地区プールとして一般公開を行っています。また、碑小学校、烏森小学校、五本木小学校は床面が上下する機構を採用しています。

表1-4-1 区立小学校のプール施設

| 学校名    | 児童数 | 設置年 | 仕様     | 長さ | 幅    | 設置場所等 |
|--------|-----|-----|--------|----|------|-------|
| 八雲小学校  | 408 | S57 | アルミ    | 25 | 10   | 屋上    |
| 菅刈小学校  | 342 | S43 | コンクリート | 25 | 10   | 地上    |
| 下目黒小学校 | 486 | S54 | アルミ    | 25 | 10   | 屋上    |
| 碑小学校   | 608 | H18 | FRP    | 25 | 13   | 地区プール |
| 中目黒小学校 | 570 | S53 | アルミ    | 25 | 10   | 地上    |
| 油面小学校  | 498 | S50 | アルミ    | 25 | 10   | 地上    |
| 大岡山小学校 | 713 | S41 | コンクリート | 25 | 10   | 地上    |
| 烏森小学校  | 398 | H02 | FRP    | 25 | 10   | 屋上    |
| 向原小学校  | 284 | S41 | コンクリート | 25 | 10   | 地上    |
| 五本木小学校 | 384 | H06 | コンクリート | 25 | 12.5 | 地区プール |
| 鷹番小学校  | 436 | S38 | コンクリート | 25 | 10   | 地上    |
| 田道小学校  | 396 | S38 | コンクリート | 25 | 10   | 地上    |
| 月光原小学校 | 353 | S44 | コンクリート | 25 | 10   | 地上    |
| 駒場小学校  | 410 | S49 | アルミ    | 25 | 8    | 屋上    |
| 緑ヶ丘小学校 | 227 | S62 | FRP    | 25 | 13   | 地区プール |
| 原町小学校  | 300 | S40 | コンクリート | 25 | 10   | 地上    |
| 不動小学校  | 702 | S57 | アルミ    | 25 | 10   | 地上    |
| 上目黒小学校 | 293 | S44 | コンクリート | 25 | 10   | 地上    |
| 東根小学校  | 730 | S36 | コンクリート | 25 | 10   | 地上    |
| 中根小学校  | 386 | H02 | FRP    | 25 | 10   | 屋内    |
| 宮前小学校  | 313 | S59 | FRP    | 25 | 10   | 地上    |
| 東山小学校  | 995 | H29 | FRP    | 25 | 13.3 | 屋上    |

表1-4-2 区立中学校のプール施設

| 学校名     | 生徒数 | 設置年 | 仕様     | 長さ | 幅   | 設置場所等 |
|---------|-----|-----|--------|----|-----|-------|
| 第一中学校   | 141 | S36 | コンクリート | 25 | 11  | 地上    |
| 第七中学校   | 204 | S39 | コンクリート | 25 | 11  | 地上    |
| 第八中小学校  | 218 | S37 | コンクリート | 25 | 11  | 地上    |
| 第九中学校   | 162 | S56 | FRP    | 25 | 11  | 地上    |
| 第十中学校   | 406 | S38 | コンクリート | 25 | 11  | 地上    |
| 第十一中学校  | 200 | S41 | コンクリート | 25 | 9.4 | 地上    |
| 東山中学校   | 363 | S55 | アルミ    | 25 | 11  | 地上    |
| 目黒中央中学校 | 588 | H01 | FRP    | 25 | 11  | 屋上    |
| 大鳥中学校   | 506 | H03 | FRP    | 25 | 11  | 屋上    |

※昭和60年以前のプールの設置年は、「目黒区教育百年のあゆみ」による。



## (2)学校プールの維持管理

学校プールは、水泳授業開始前の5月から6月にかけて、専門業者による水槽の清掃と循環浄化装置の点検を行っています。また、循環浄化装置の点検はシーズン終了後にも行っています。

プール清掃・循環浄化装置の点検後から水泳授業終了まで、日常的な点検として教員が異物の撤去や施設の破損等の確認を行い、塩素投入等による水質管理を行っています。また、学年に合わせた水位調整や、熱中症指数の測定も活動時間ごとに行っています。

プールの維持管理については、一部、業務委託を行っていますが、学校アンケート（P4 参照）では、施設の維持管理について多くの意見が上がっており、施設の維持管理は多くの教員の負担になっていることがわかります。

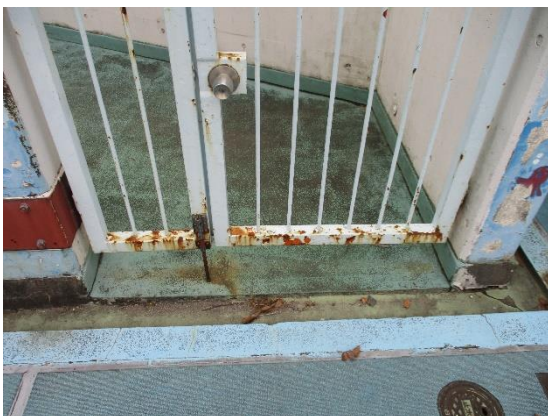
一方、地区プールとなっている学校では、プールの維持管理は民間委託事業者が行っており、当該校の教員からは維持管理に係る教員の負担がありません。

## (3)施設面での課題

区立学校に設置しているプール槽やプール設備は、これまで各種修繕を行っており、適宜、老朽化等への対応を行っています。しかし、利用期間が限定的であることから、更衣室やトイレなどプール付帯施設の整備は、校舎、屋内運動場等に比べて優先度が低く、積極的な機能改善等の整備は行っていません。

また、プール槽の劣化を防ぐため常時水をためておく必要があることと、水の入れ替えには多額の費用を要することから、プールは他の施設に比べて、頻繁に点検を行うことができないという特徴があります。そのため使用開始直前の清掃時に不具合が見つかることが多くあり、その都度、応急的な対応を行っています。

さらに、塩素による鉄部の腐食や、直射日光（紫外線）による影響で、劣化が進みやすいという点も、プール施設の特徴です。



塩素による鉄部のさび



プールサイドの劣化

## 第二章 学校外プールの活用

### 1 他自治体での取り組み

学校プールに関しては、多くの自治体で、天候に影響されやすい授業形態、教員の水泳に関する指導体制、施設の老朽化や維持管理など、本区と同様の課題があります。

いくつかの自治体では、これらの課題の解決に向けた取組が行われています。

#### (1)学校外プールを活用している自治体

※学校外プールとは、自校以外のプール（地区プールや民間プールなど）のことを指します。

##### ■千葉県佐倉市（民間プールの活用）

平成25年度から、ファシリティマネジメントの一環として、小中学校にかかる維持管理費を抑える目的から、民間事業者が運営するスイミングスクールを活用した水泳授業を実施しています。

これにより、施設の維持管理コストの削減及び教職員の負担軽減、インストラクターによる効果的な指導、天候に左右されない授業実施などのメリットが生み出されています。また、プールを廃止した学校では、プール跡地に多目的広場を設置するなどの取組も行われています。

事業実施に当たっての課題としては、指導に係る事前打合せが複数回必要なことや、往復の移動等に約1時間を要することなどが挙げられますが、メリットのほうが大きいと判断され、現在も継続して取組が行われています。

##### ■東京都葛飾区（公共プール及び民間プールの活用）

近年、雨天や猛暑等、天候の影響によって計画的な水泳指導が困難な状況にあることなどの理由から、令和2年度に水泳指導の充実を目的として区立スポーツセンターや民間事業者の屋内温水プールを利用して、学校の水泳指導を行っていくという方針を打ち出しました。

小学校については、改築時において新たにプールを設置せず、既存施設においても老朽化したプールの大規模改修は行わないこととし、他の学校についても、学校の意向により、学校外プールの利用へと移行していくとしています。

また、中学校においては、改築時や大規模改修が必要になったときに対応を検討するとしています。

##### ■埼玉県志木市（民間プールの活用）

教員負担の軽減や、より専門的で安全な水泳指導の実現など、時代の変化に対応した持続可能な行政運営の必要性と、今後の人口減少や少子高齢化などを考慮すると公共施設等の更新費用が大幅に不足するという課題を背景に、令和2年度に「志木市水泳指導のあり方基本方針」を定めました。

今後の水泳指導のあり方として、質の高い水泳指導を目的とした水泳専門の指導員との連携を目指すこととし、施設整備にあたっては、各学校単独での建て替えは行わず、民間プール等の活用や、学校間の共同利用をはかることとしています。

令和2年度から一部の小学校で民間プールを活用した水泳指導を実施しており、令和4年度にはすべての小学校までに拡大しています。

#### ■神奈川県海老名市（公共プールの活用）

施設の老朽化や安全対策のために、平成19年度から市内の屋内温水プールを利用して小中学校の水泳授業を試行しました。現在では全校の学校プールを廃止し、屋内温水プール4施設で水泳の授業を実施しています。

専門のプール監視員が配置されているため、安全面が向上したという学校側のメリットと、平日の利用者の少ない時間帯に学校が利用することから施設の利用率があがるというプール運営側のメリットがあります。

しかし、学校の水泳授業のために施設を貸し切りとすることから、事業を開始した当初、市民が利用できる時間が制限されるという意見が寄せられていました。

表2-1-1 その他の取組事例

| 市町村名   | 事例概要・今後の方針  |
|--------|---|
| 東京都墨田区 | 学校プールの改築期間中、近隣の民間プールを借りて教員が授業を行い、監視員は民間スタッフが担当。   |
| 埼玉県羽生市 | 中学校のプールは令和3年から廃止。小学校は当面維持。  |
| 千葉県千葉市 | <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の泳力向上と教員の負担軽減を目的とし、千葉市立小学校2校にインストラクター派遣。</li> <li>1校は民間プール施設にて授業実施（バス移動）。</li> </ul> |
| 千葉県君津市 | 令和4年度までに、小学校は、地区プール・民間プール・拠点校での共用化を進める。中学校は理論学習へ移行。   |
| 愛知県常滑市 | 小中学校全13校中11校が築後40年経過。小学校は市営温水プールや中学校プールへの共用化を経て令和6年に全廃。中学校は計画的に整備を行う方針。   |
| 茨城県下妻市 | 小中学校12校11プールを将来的に5プールに集約。   |
| 茨城県鹿嶋市 | 小学校4校、中学校1校が築後40年経過。温水屋内プールを整備し、午前中は学校利用、それ以外を地域で利用。  |

#### (2) 中学校では水泳指導を行わない自治体

学習指導要領では、適切な水泳場の確保が困難な場合には水泳指導を行わないことができる旨が記載されていることから、中学校で水泳指導を行わない自治体もあります。

表2-1-2 水泳指導を行わない自治体

| 市町村名   | 事例概要・今後の方針                                      |
|--------|---|
| 埼玉県羽生市 | 教員の負担軽減や、施設の維持管理経費及び改修費の問題から、令和2年度から中学校のプールを廃止。 |
| 埼玉県鴻巣市 | 老朽化した施設の修繕コストの問題から、令和4年度から市立中学校全8校で水泳の実技の授業を廃止。 |
| 埼玉県加須市 | 令和4年度から、全中学校の水泳指導を廃止。                           |

## 2 区内のプール施設

他の自治体では、学校外プールを利用した水泳指導が取り入れられていますが、その内容は、地域の学校外プールの設置状況によって大きく変わってきます。目黒区での学校外プールの状況は次のとおりです。

### (1)地区プール

目黒区では、地区プールとして屋内温水プールが5施設あります。そのうち3つの施設は、学校と併設しており、中央地区プールは五本木小学校、南部地区プールは碑小学校、西部地区プールは緑ヶ丘小学校と共用しています。北部地区プール（駒場体育館）と東部地区プール（区民センター）については、体育館等と併設したスポーツ施設として整備しています。

小学校内プールは民間事業者に運営委託を行い、他は指定管理者による運営をおこなっています。

表2-2-1 地区プール

| 施設名              | プールの大きさ  | 休館日                 |
|------------------|----------|---------------------|
| 西部地区プール（緑ヶ丘小学校）  | 25m 6コース | 年末年始<br>及び<br>臨時休館日 |
| 南部地区プール（碑小学校）    | 25m 6コース |                     |
| 中央地区プール（五本木小学校）  | 25m 6コース |                     |
| 駒場体育館プール         | 25m 6コース |                     |
| 目黒区民センター体育館屋内プール | 25m 6コース |                     |

### (2)民間プール

目黒区内には、複数の民間プールがありますが、現時点で区立学校の水泳指導を行うことができる事業者は、コナミスポーツクラブとセントラルフィットネスクラブの2事業者です。そのうち活用が想定される主な民間プール施設は以下のとおりです。

表2-2-2 民間プール

| 民間事業者プール施設名          | プールの大きさ     | 住所          | 休館日 |
|----------------------|-------------|-------------|-----|
| セントラルフィットネスクラブ24目黒   | 25m<br>6コース | 中央町 2-26-7  | 金曜日 |
| セントラルフィットネスクラブ24自由が丘 | 25m<br>4コース | 中根 1-14-17  | 水曜日 |
| コナミスポーツクラブ<br>碑文谷    | 20m<br>4コース | 碑文谷 2-1-24  | 水曜日 |
| コナミスポーツクラブ<br>目黒青葉台  | 25m<br>6コース | 青葉台 2-19-10 | 火曜日 |





中央地区プール（五本木小学校）



駒場体育館プール



南部地区プール（碑小学校）



区民センタープール



コナミスポーツクラブ 碑文谷



セントラルフィットネスクラブ24目黒



コナミスポーツクラブ 目黒青葉台



セントラルフィットネスクラブ24自由が丘

### 3 学校外プールを活用した水泳指導の試験実施

学校外プールの活用に関する課題と効果を整理するために、令和4年度、目黒区内の小学校において、学校外プールを活用した水泳指導を試験的に実施しました。

#### (1) 試験実施の概要

試験実施の対象校は、目黒区学校施設更新計画第一期において建て替え対象となっている向原小学校・鷹番小学校の2校です。

向原小学校は、学校の建て替えに伴って、令和5年度にプールの取り壊す予定であり、学校での水泳指導を行うことができなくなります。このことから、バス移動を伴う学校外プールを活用した水泳指導の検証を行うモデルケースとして選定しました。

鷹番小学校については、学校と学校外プールとの距離が約300mの位置にあり、徒歩移動が可能であることから、徒歩移動のモデルケースとして選定しました。

児童、保護者に対しては、事前に各学校から実施概要をお知らせしました。

表2-3-1 学校外プールを活用した水泳指導の実施概要

| 学校名   | 鷹番小学校   | 向原小学校                                 |
|-------|---|---------------------------------------|
| 児童数※1 | 425人  | 284人                                  |
| 利用施設  | セントラルフィットネスクラブ24目黒<br>(中央町2-26-7)   | コナミスポーツクラブ 碑文谷<br>(碑文谷2-1-24)         |
| 移動方法  | 徒歩  | 中型バス2台※2                              |
| 移動時間  | 約10分  | 約15分                                  |
| 実施時期  | 5月下旬から11月上旬   |                                       |
| 実施日   | 毎週金曜日の午前中   | 毎週水曜日の午前中                             |
| 実施時間  | 各学年 3単位時間   | 高学年 3単位時間<br>低学年 4単位時間                |
| 入水時間  | 約60分間(準備体操を含む。)   |                                       |
| 更衣    | 普段着で施設に移動し、施設の更衣室を利用し、現地で水着に着替える。   | 水着に着替えた状態で施設に移動し、指導後に現地で普段着に着替え学校に戻る。 |
| 見学者   | プールに隣接した部屋で見学   | プール室内で見学                              |
| その他   | <ul style="list-style-type: none"> <li>着衣泳を実施※3</li> <li>特別支援学級の水泳指導は教員が実施</li> </ul> | 移動に伴う時間調整を民間施設内に確保                    |

※1 令和4年5月1日時点の児童数

※2 バスは別途委託

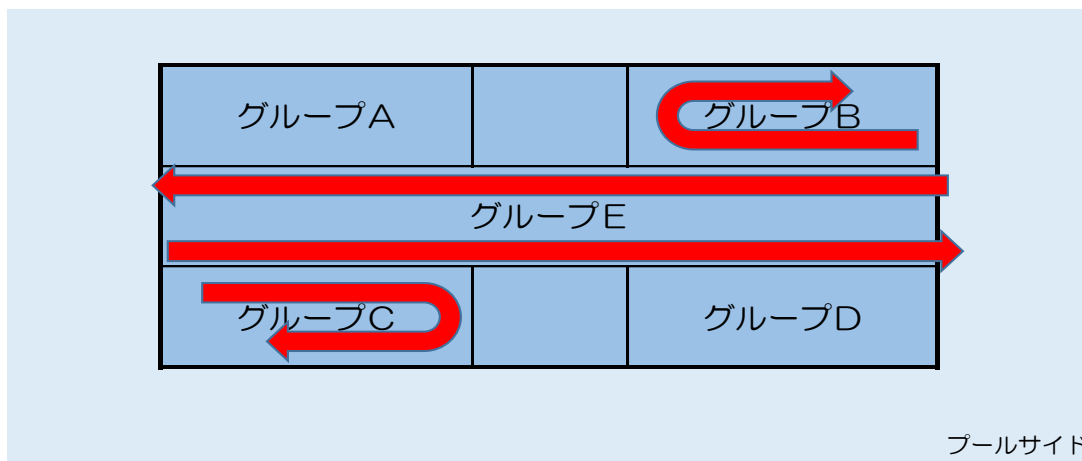
※3 着衣泳は両施設とも実施可能だったが鷹番小学校のみ実施。



## (2)水泳指導

図のように、泳力別グループごとにエリア分けをして指導を行います。(1つのグループは10～15名程度)

図2 グループ別指導の配置例



※水泳動作の起点と終点には足場になる台を設置します。

### 【民間事業者の役割】

- 学習指導要領の内容に沿ってインストラクターが水泳指導を実施します。
- 安全確保のためにインストラクターの他に監視員を配置します。

### 【教員の役割】

- プールサイドを巡回し、児童の状況の把握、全体の安全管理を行いながら、評価のための記録等を行います。
- 特に配慮や指導が必要な児童への対応や、見学者の付き添い等を行います。

## (3)学校からプール施設までの引率

- 引率は、学級担任(2～3名)と補助の教員(1～2名)で行い、施設到着後は、各施設のスタッフも誘導に加わります。
- 教員は適宜、点呼等により人数確認を行うことで移動中の安全を確保します。
- バス移動の際、停車中もバスには常に運転手が乗車しており、忘れ物や置き去り事故等を防止します。

## (4)委託経費

表2-3-2 学校外プール利用に係る事業費(令和4年度の実績)

| 学校名   | 鷹番小学校      | 向原小学校      |
|-------|------------|------------|
| 施設利用費 |            |            |
| 水泳指導費 | 3,313,200円 | 3,663,000円 |
| バス移動  | —          | 2,880,400円 |
| 合計    | 3,313,200円 | 6,543,400円 |

## (5)試験実施後のアンケート結果

試験実施終了後に、児童、教員、保護者に対してアンケート調査を実施しました。児童、及び教員は、全5回の水泳指導が終了した時点に行い、保護者に対しては、全学年の水泳指導が終了した11月に実施しました。

## ①児童アンケートの集計結果(選択回答形式)

児童アンケートは選択式(Q1～Q5)と自由意見形式としました。

表2-3-3 向原小学校 児童アンケート結果

| 【向原小学校 児童アンケート結果 児童数 284名】              |                |                  |                |                |
|---|----------------|------------------|----------------|----------------|
| 回答数                                     | 273(回答率 96.1%) |                  |                |                |
| <b>Q1 水泳は好きですか</b>                      |                |                  |                |                |
| 回答項目                                    | 好き             | どちらかといえば好き       | どちらかといえば嫌い     | 嫌い             |
| 回答者数                                    | 182人           | 79人              | 6人             | 6人             |
| 割合                                      | 66.7%          | 28.9%            | 2.2%           | 2.2%           |
| <b>Q2 水泳コーチに教えてもらってどうでしたか</b>           |                |                  |                |                |
| 回答項目                                    | 授業前より泳げるようになった | 授業前より水に慣れることができた | あまりよくなかった      | よくなかった         |
| 回答者数                                    | 233人           | 29人              | 7人             | 2人             |
| 割合                                      | 85.3%          | 10.6%            | 2.6%           | 0.7%           |
| <b>Q3 授業中はたくさん身体を動かすことができましたか</b>       |                |                  |                |                |
| 回答項目                                    | たくさん動かせた       | ちょうどよかった         | あまり動かせなかった     | よくわからない        |
| 回答者数                                    | 184人           | 65人              | 9人             | 14人            |
| 割合                                      | 67.4%          | 23.8%            | 3.3%           | 5.1%           |
| <b>Q4 コナミスポーツクラブ 碑文谷で授業を行ってどう思いましたか</b> |                |                  |                |                |
| 回答項目                                    | とてもよかった        | よかった             | あまりよくなかった      | よくなかった         |
| 回答者数                                    | 199人           | 67人              | 6人             | 1人             |
| 割合                                      | 72.9%          | 24.5%            | 2.2%           | 0.4%           |
| <b>Q5 今後もコナミスポーツ 碑文谷で授業を行いたいですか</b>     |                |                  |                |                |
| 回答項目                                    | ぜひやりたい         | どちらかといえばやりたい     | どちらかといえばやりたくない | 学校にプールがあるほうがいい |
| 回答者数                                    | 205人           | 49人              | 13人            | 6人             |
| 割合                                      | 75.1%          | 17.9%            | 4.8%           | 2.2%           |

表2-3-4 鷹番小学校 児童アンケート結果

| 【鷹番小学校 児童アンケート結果 児童数 425名】                |                |                  |                |                |
|---|----------------|------------------|----------------|----------------|
| 回答数                                       | 399(回答率 93.9%) |                  |                |                |
| <b>Q1 水泳は好きですか</b>                        |                |                  |                |                |
| 回答項目                                      | 好き             | どちらかといえば好き       | どちらかといえば嫌い     | 嫌い             |
| 回答者数                                      | 239人           | 103人             | 34人            | 18人            |
| 割合  | 59.9%          | 25.8%            | 8.5%           | 4.5%           |
| <b>Q2 水泳コーチに教えてもらってどうでしたか</b>             |                |                  |                |                |
| 回答項目                                      | 授業前より泳げるようになった | 授業前より水に慣れることができた | あまりよくなかった      | よくなかった         |
| 回答者数                                      | 274人           | 89人              | 21人            | 10人            |
| 割合  | 68.7%          | 22.3%            | 5.3%           | 2.5%           |
| <b>Q3 授業中はたくさん身体を動かすことができましたか</b>         |                |                  |                |                |
| 回答項目                                      | たくさん動かせた       | ちょうどよかった         | あまり動かせなかった     | よくわからない        |
| 回答者数                                      | 252人           | 111人             | 22人            | 13人            |
| 割合  | 63.2%          | 27.8%            | 5.5%           | 3.3%           |
| <b>Q4 セントラルフィットネスクラブ目黒で授業を行ってどう思いましたか</b> |                |                  |                |                |
| 回答項目                                      | とてもよかった        | よかった             | あまりよくなかった      | よくなかった         |
| 回答者数                                      | 237人           | 125人             | 16人            | 14人            |
| 割合  | 59.4%          | 31.3%            | 4.0%           | 3.5%           |
| <b>Q5 今後もセントラルフィットネスクラブ目黒で授業を行いたいですか</b>  |                |                  |                |                |
| 回答項目                                      | ぜひやりたい         | どちらかといえばやりたい     | どちらかといえばやりたくない | 学校にプールがあるほうがいい |
| 回答者数                                      | 208人           | 123人             | 34人            | 31人            |
| 割合  | 52.1%          | 30.8%            | 8.5%           | 7.8%           |

児童アンケートでは、すべての調査項目において、向原小学校で90%以上、鷹番小学校で80%以上が肯定的な回答となりました。

鷹番小学校では、Q1で水泳に対して「嫌い」・「どちらかといえば嫌い」という回答が計13%であったのに対して、Q4で今回の授業に対して「あまりよくなかった」・「よくなかった」の回答が計7.5%となっていることから、水泳が嫌いな児童の中にも、今回の水泳指導に対して肯定的な意見を持つ児童がいたことが推測されます。

また、自由意見欄には、「楽しかった」「泳げるようになった」などの感想が多く記載されていました。

今回の調査では、民間プールでの水泳指導に対して、概ね肯定的な回答が得られましたが、今後は、否定的な回答になった児童に着目し、改善点を探る必要があります。

## ②保護者アンケートの集計結果

保護者アンケートは選択式（Q1～Q6）と自由意見形式とし、自由意見の要旨は、いただいたご意見の内容を分類し、2名上の方からのご意見を集計したものです。  
アンケートの回答はWebフォームを用いました。

表2-3-5 向原小学校 保護者アンケート 回答数 121（回答率 42.6%）

| Q1 お子様の学年を教えてください。             |           |           |           |           |       |       |
|--------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|
| 回答項目                           | 1年生       | 2年生       | 3年生       | 4年生       | 5年生   | 6年生   |
| 回答者数                           | 25人       | 21人       | 26人       | 17人       | 13人   | 19人   |
| 割合                             | 20.7%     | 17.4%     | 21.5%     | 14.0%     | 10.7% | 15.7% |
| 回答項目                           |           |           | 回答者数      | 割合        |       |       |
| 楽しく授業が受けられること                  |           |           | 93人       | 76.9%     |       |       |
| 水泳に親しみ、水泳が好きな気持ちを持つこと          |           |           | 74人       | 61.2%     |       |       |
| 基本的な泳法を習得すること                  |           |           | 71人       | 58.7%     |       |       |
| 自分の泳力の課題を解決していくこと              |           |           | 33人       | 27.3%     |       |       |
| 水に慣れ、恐怖心をなくすこと                 |           |           | 38人       | 31.4%     |       |       |
| 水の危険さを学び、安全に気を付けること            |           |           | 72人       | 59.5%     |       |       |
| 快適な環境で授業を受けること                 |           |           | 40人       | 33.1%     |       |       |
| Q3 民間プールでの水泳指導はどうでしたか。         |           |           |           |           |       |       |
| 回答項目                           | 満足        | やや満足      | どちらともいえない | やや不満      | 不満    |       |
| 回答者数                           | 79人       | 31人       | 8人        | 3人        | 0人    |       |
| 割合                             | 65.3%     | 25.6%     | 6.6%      | 2.5%      | 0.0%  |       |
| Q4 インストラクターによる水泳指導はどうでしたか。     |           |           |           |           |       |       |
| 回答項目                           | 満足        | やや満足      | どちらともいえない | やや不満      | 不満    |       |
| 回答者数                           | 92人       | 21人       | 6人        | 2人        | 0人    |       |
| 割合                             | 76.0%     | 17.4%     | 5.0%      | 1.7%      | 0.0%  |       |
| 回答項目                           |           | 利用したことがある |           | 利用したことがない |       |       |
| 回答者数                           |           | 81人       |           | 40人       |       |       |
| 割合                             |           | 66.9%     |           | 33.1%     |       |       |
| Q6 お子様はスイミングスクールに通われた経験がありますか。 |           |           |           |           |       |       |
| 回答項目                           | 利用したことがある |           |           | 利用したことがない |       |       |
| 回答者数                           | 83人       |           |           | 38人       |       |       |
| 割合                             | 68.6%     |           |           | 31.4%     |       |       |

表2-3-6 鷹番小学校 保護者アンケート 回答数 121 (回答率 28.5%)

| Q1 お子様の学年を教えてください。             |           |       |           |           |       |       |
|--------------------------------|-----------|-------|-----------|-----------|-------|-------|
| 回答項目                           | 1年生       | 2年生   | 3年生       | 4年生       | 5年生   | 6年生   |
| 回答者数                           | 23人       | 29人   | 21人       | 16人       | 15人   | 17人   |
| 割合                             | 19.0%     | 24.0% | 17.4%     | 13.2%     | 12.4% | 14.0% |
| Q2 水泳の授業で特に期待することはなんですか。(複数回答) |           |       |           |           |       |       |
| 回答項目                           |           |       | 回答者数      | 割合        |       |       |
| 楽しく授業が受けられること                  |           |       | 75人       | 62.0%     |       |       |
| 水泳に親しみ、水泳が好きな気持ちを持つこと          |           |       | 72人       | 59.5%     |       |       |
| 基本的な泳法を習得すること                  |           |       | 79人       | 65.3%     |       |       |
| 自分の泳力の課題を解決していくこと              |           |       | 27人       | 22.3%     |       |       |
| 水に慣れ、恐怖心をなくすこと                 |           |       | 44人       | 36.4%     |       |       |
| 水の危険さを学び、安全に気を付けること            |           |       | 77人       | 63.6%     |       |       |
| 快適な環境で授業を受けること                 |           |       | 42人       | 34.7%     |       |       |
| Q3 民間プールでの水泳指導はどうでしたか。         |           |       |           |           |       |       |
| 回答項目                           | 満足        | やや満足  | どちらともいえない | やや不満      | 不満    |       |
| 回答者数                           | 77人       | 27人   | 11人       | 4人        | 2人    |       |
| 割合                             | 63.6%     | 22.3% | 9.1%      | 3.3%      | 1.7%  |       |
| Q4 インストラクターによる水泳指導はどうでしたか。     |           |       |           |           |       |       |
| 回答項目                           | 満足        | やや満足  | どちらともいえない | やや不満      | 不満    |       |
| 回答者数                           | 80人       | 25人   | 13人       | 1人        | 2人    |       |
| 割合                             | 66.1%     | 20.7% | 10.7%     | 0.8%      | 1.7%  |       |
| Q5 目黒区の屋内温水プールを利用したことはありますか。   |           |       |           |           |       |       |
| 回答項目                           | 利用したことがある |       |           | 利用したことがない |       |       |
| 回答者数                           | 87人       |       |           | 34人       |       |       |
| 割合                             | 71.9%     |       |           | 28.1%     |       |       |
| Q6 お子様はスイミングスクールに通われた経験がありますか。 |           |       |           |           |       |       |
| 回答項目                           | 利用したことがある |       |           | 利用したことがない |       |       |
| 回答者数                           | 87人       |       |           | 34人       |       |       |
| 割合                             | 71.9%     |       |           | 28.1%     |       |       |

両校において、85%以上の保護者から肯定的な回答が得られました。自由意見では、インストラクターによる専門的な指導と天候に左右されずに確実に水泳が行える点が評価される一方、泳力を向上させるために、さらに回数を増やしてほしいという意見を多くいただきました。

図2-3-7 向原小 保護者アンケート自由意見の要旨

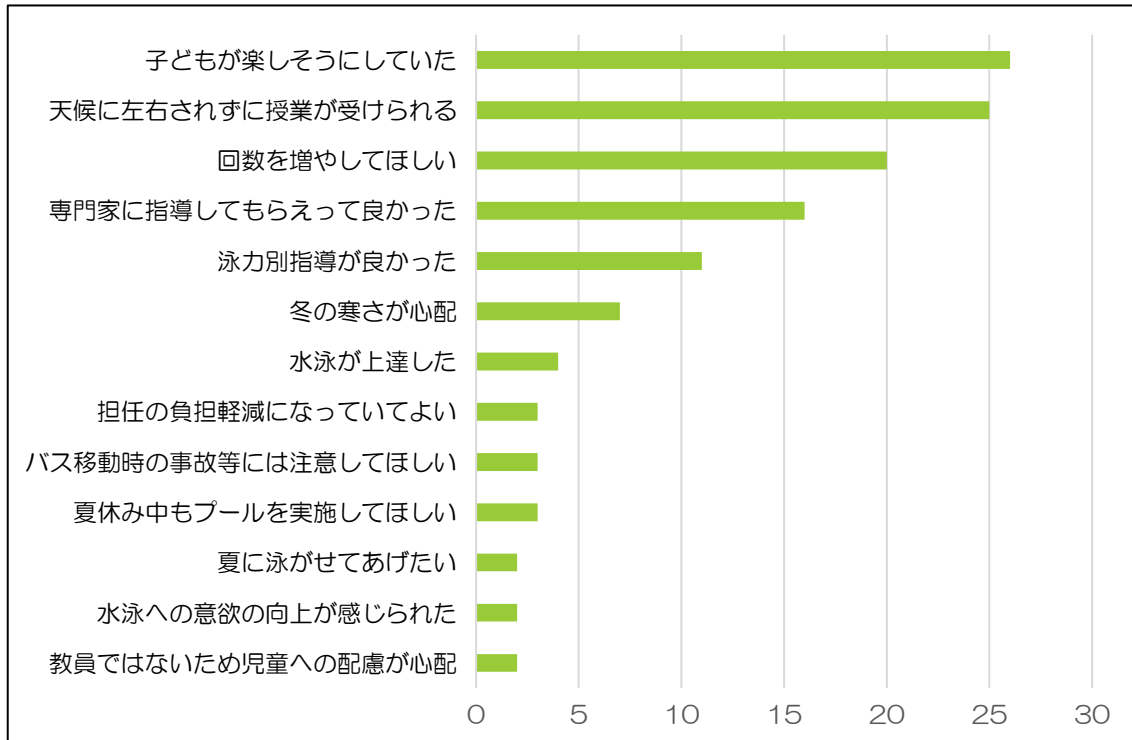
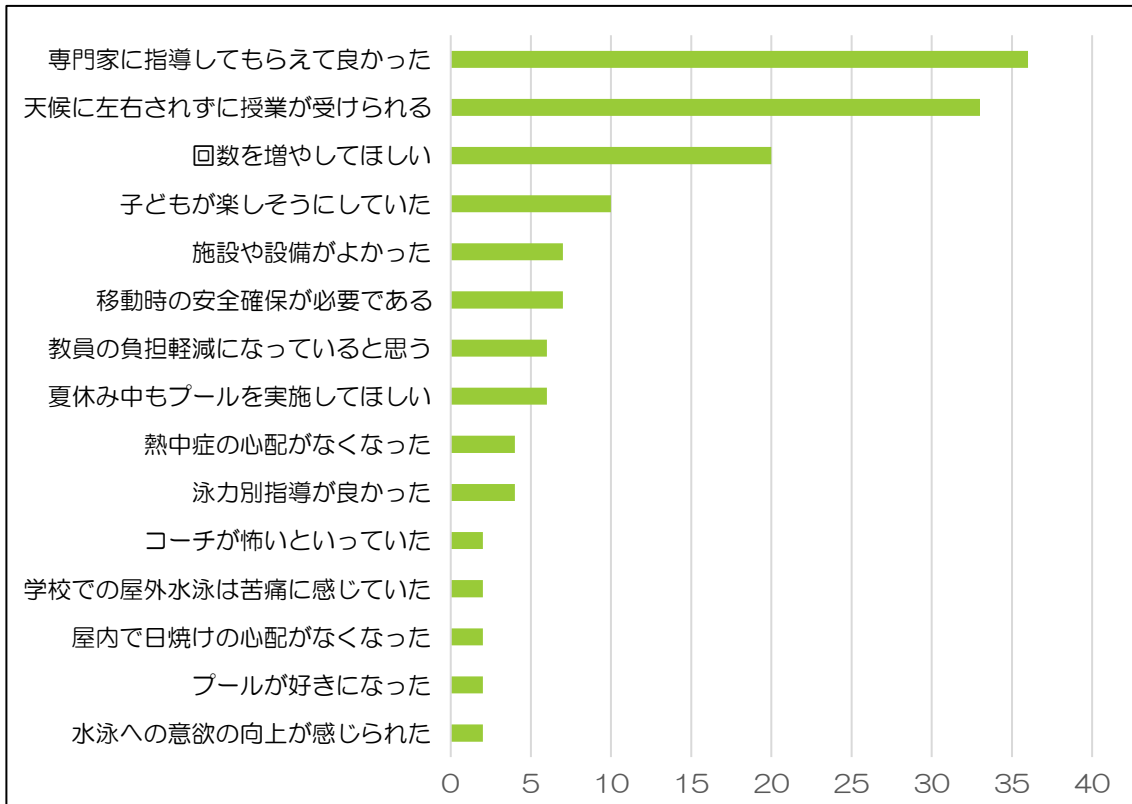


図2-3-8 鷹番小 保護者アンケート自由意見の要旨

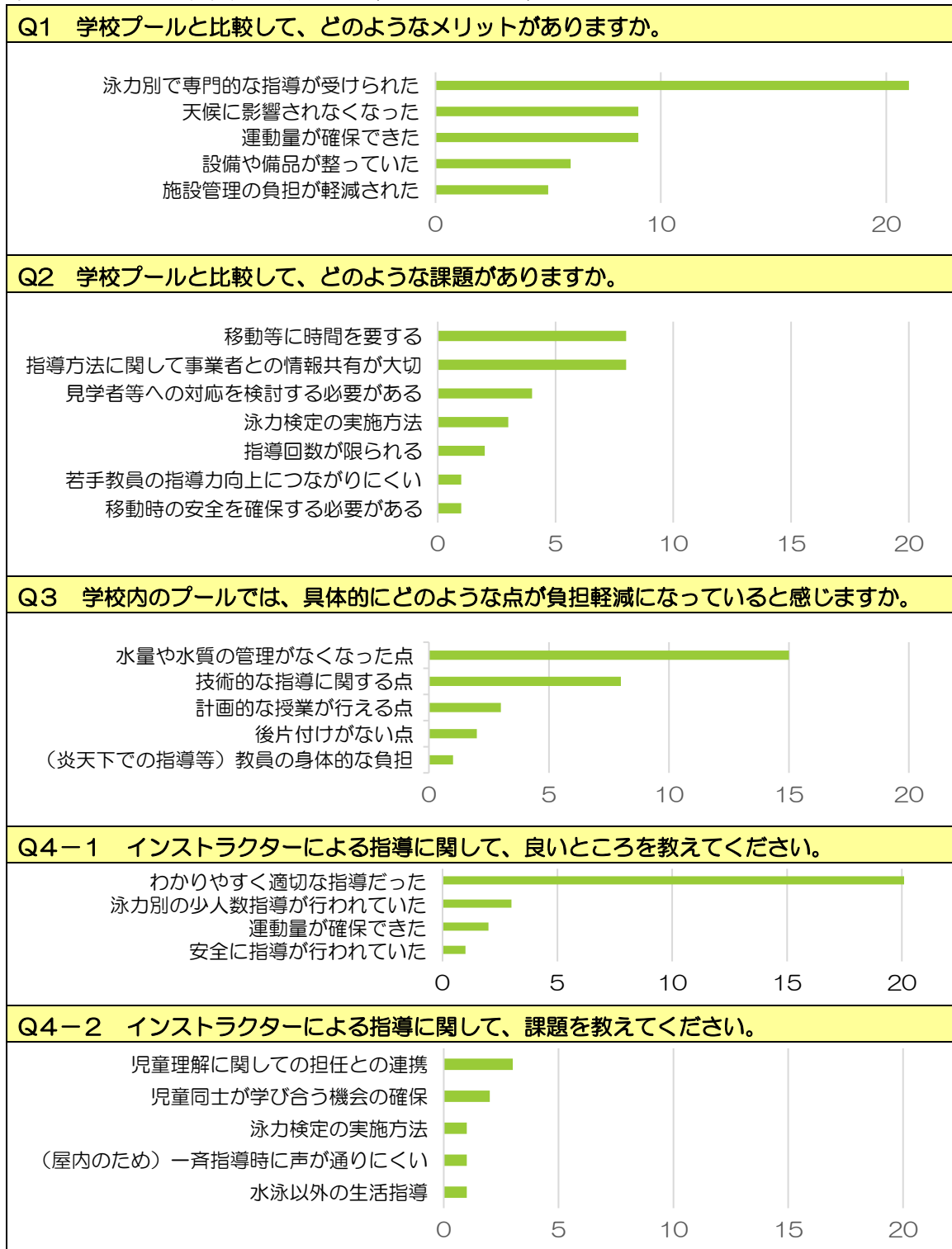


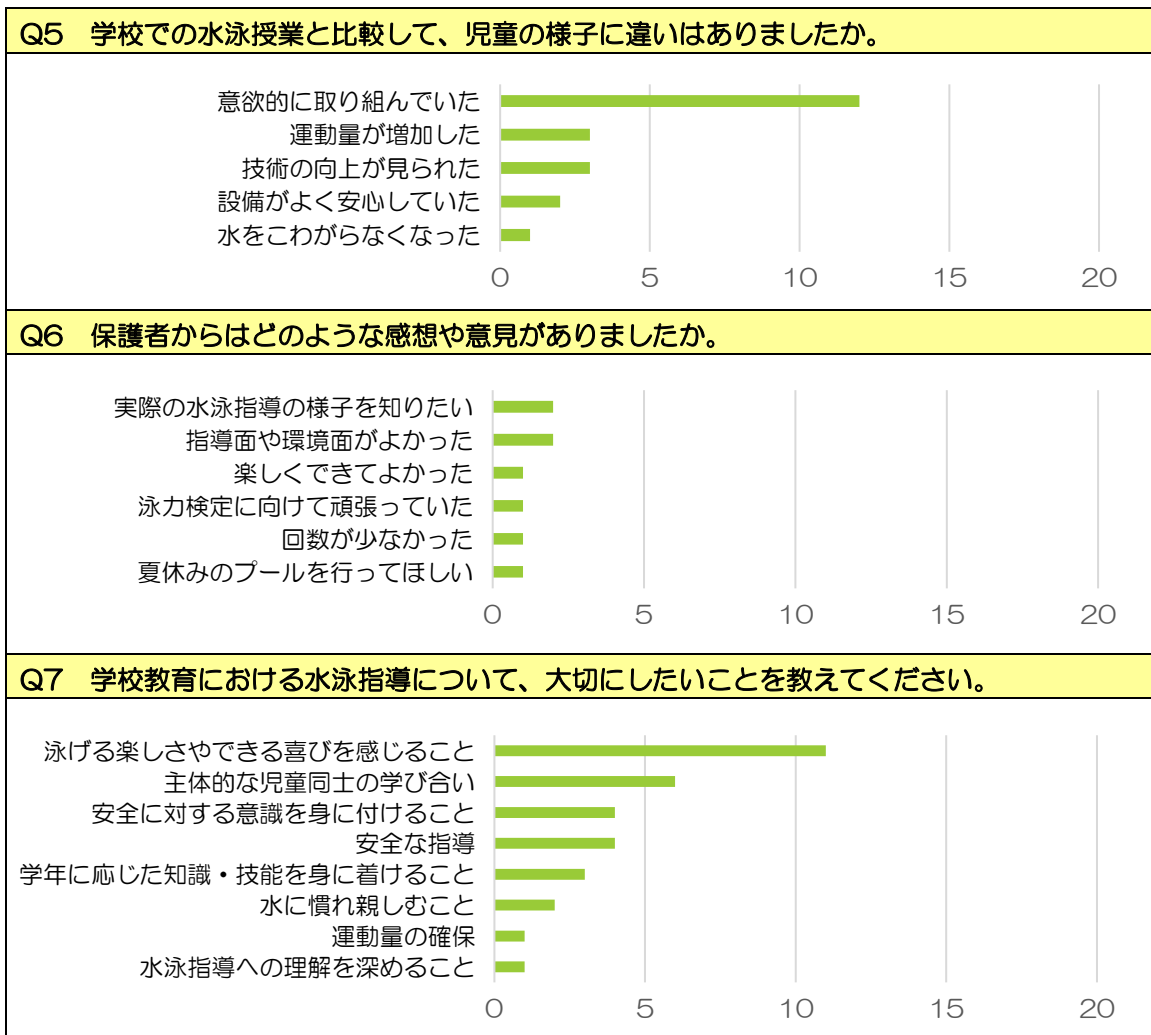


## ③教員アンケートの集計結果(自由回答形式)

教員アンケートは、自由記述式とし、回答の趣旨ごとに集計しました。向原小学校と鷹番小学校の結果を合わせて集計しています。

表2-3-9 教員アンケート(回答者26名)





## (6) 試験実施を踏まえた効果と課題

試験実施を終えて、各アンケート結果から、天候に左右されない計画的な授業や専門的な指導など様々な効果があることがわかりました。一方で、以下の点が主な課題として確認できました。

- 教員の役割について教員間で認識の違いがないよう、十分な事前打ち合わせが必要。
- 主体的・協働的な学習活動を通して、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を育成するために、指導に当たって教員とインストラクターの役割分担や指導方法について認識を共有する必要がある。
- グループ設定は泳力だけでなく児童の実態等に配慮して行う必要がある。
- 学校外プールの授業内容について保護者の理解が深まるように、今後も継続して説明する機会を設けたほうがよい。

これらの課題については、今後、学校と連携を図りながら改善を図る必要があります。

## 4 コスト検討

### (1) プール施設の建設費

プールの建設費の検討に当たっては、学校の立地や敷地面積等の条件によって建築計画が異なるため、モデル的な試算が困難です。したがって今回の検討にあたっては、他の自治体の事例を参考にすることとします。

久喜市立青葉小学校では平成28年に平屋建ての屋外プールを建設しており、プール建設費は約2億6900万円となっています。また、他自治体のプール施設の検討では、それぞれ概算工事費を示しており、1億2000万円から2億2000万円程度と幅があります。これらの事例を参考にし、今回の検討における、屋外プールを設置する場合の建設費は**2億円**とします。

なお、屋内温水プールについては、施設によって建設する建物規模も大きく異なることから、概算工事費については、学校施設更新計画で示した50万円/㎡として算出します。今回の検討では、施設規模を800㎡とし、建設費を**4億円**とします。

### (2) 屋外プールの維持管理費

学校プールの維持には、授業開始前の清掃・循環浄化装置点検や水質維持のための塩素購入、水質検査、水道代、修繕工事等の経費が必要です。検討に当たって、令和4年度の実績から1校当たりの年間維持管理費用の合計を、約**180万円**とします。

また、施設の機能改善のために大規模改修工事が必要です。これに係る経費は他の自治体の例から、約**5000万円**とします。

表2-4-1 屋外プールの維持管理経費（地区プールを除く1校当たり）

| 項目          | 金額（千円） | 算出年度    |
|-------------|--------|---------|
| プール清掃委託費    | 69     | 令和4年度実績 |
| 循環浄化装置点検費   | 146    | 令和4年度実績 |
| 消毒液購入・水質検査費 | 353    | 令和4年度実績 |
| 1校当たりの合計    | 568    | 令和4年度実績 |

※可動床や可動屋根等、一部の学校にのみ設置された付帯設備点検費は除く。

表2-4-2 水道代及び補修修繕費の推移（1校当たり）

単位：円

| 年度    | H29   | H30   | H31   | R2  | R3    | R4    |
|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|
| 水道代   | 853   | 1,188 | 946   | 299 | 844   | 1,016 |
| 補修修繕費 | 491   | 461   | 339   | 276 | 224   | 281   |
| 合計    | 1,344 | 1,649 | 1,285 | 575 | 1,068 | 1,297 |

※1 プール専用水道メーターがある学校の1校当たりの値を集計している。

※2 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、プール授業が中止となったため、他年度よりも低くなっている。

**(3)地区プール(小学校併設校温水プール)の維持管理費用**

屋内温水プールの維持管理には、専門的な知識や技能を持った専門スタッフの配置が必要となります。また、設備の特性上、夏季限定での運用は困難です。これらを踏まえ、屋内温水プールの運営は、期間限定の学校利用だけではなく、一般区民を対象とした通年利用を想定する必要があります。

現在、小学校に併設した地区プール（屋内温水プール）の維持管理は、地区プールの運営と合わせて民間事業者へ委託しています。

温水プール3校の維持管理経費は以下のとおりです。主な内訳はプール施設の維持管理委託経費やプール事業の運営委託費、補修修繕費です。

表2-4-3 地区プールの維持管理費（令和4年度実績） 単位：円

| 施設名               | 維持管理委託     | 運営委託       | 補修修繕費<br>( )は10年間の平均     | 備考            |
|-------------------|------------|------------|--------------------------|---------------|
| 南部地区プール<br>(碑小)   | 14,124,000 | 45,606,000 | 1,485,330<br>(1,606,798) | 光熱水費、警備委託費は除く |
| 中央地区プール<br>(五本木小) | 13,485,120 | 48,271,905 | 1,395,460<br>(1,694,535) | 光熱水費、警備委託費は除く |
| 西部地区プール<br>(緑ヶ丘小) | 19,714,200 | 51,150,000 | 812,900<br>(869,903)     | 光熱水費、警備委託費は除く |

上記の委託費以外にも、光熱水費が1000万円以上となり、これらを踏まえると、1施設当たり年間7000万円を超える経費が必要になります。

また、大規模修繕費については、適切な事例がなく想定困難なため、建設費による屋外プールとの比較から、1億円とします。

**(4)民間プールを活用した場合の費用**

民間プール施設の活用にあたって、水泳指導料（施設使用料とインストラクターによる指導料）とバス送迎費用が必要です。水泳指導料は、実施回数（日数）により、バス送迎費用は台数によって変動し、今年度の実績から単価を想定しました。

表2-4-4 委託経費の想定単価

| 項目     | 単位           | 金額       |
|--------|--------------|----------|
| 水泳指導料  | 午前2回／1日当たり   | 230,000円 |
| バス送迎費用 | 中型バス1台・1日当たり | 90,000円  |

表2-4-5 年間委託費の試算（児童数320～450人程、バス3台利用）

| 項目     | 内訳                       | 金額(円)      |
|--------|--------------------------|------------|
| 水泳指導料  | 実施日15日間（1学年単位で実施）        | 3,450,000円 |
| バス送迎費用 | 実施日15日間×中型バス（90,000円）×3台 | 4,050,000円 |
| 合計     |                          | 7,500,000円 |

## (5)自校プールを所有した場合と民間プールを活用した場合の費用比較

自校にプールを整備した場合と民間プールを活用した場合のコストを比較した結果は下表のとおりです。ここでは、プールの耐用年数を60年とします。

学校に屋外プールを設ける場合は学校規模によらず一定の経費となりますが、民間プールを利用する場合は、児童・生徒数やバス利用の有無によって金額が大きく異なってくることから、学校の規模や立地条件がコストに大きく影響します。

表2-4-6 自校に屋外プールを設置した場合の必要経費

| 項目                    | 1年当たりの金額 | 60年間の金額    |
|-----------------------|----------|------------|
| 建設費                   | -        | 200,000 千円 |
| 大規模修繕費(30年で1回)        | -        | 50,000 千円  |
| 解体費                   | -        | 30,000 千円  |
| 維持管理費(水道代、設備保守、小修繕費等) | 1,800 千円 | 108,000 千円 |
| 合計                    | 1,867 千円 | 388,000 千円 |

表2-4-7 自校に屋内温水プール(通年利用)を設置した場合の必要経費

| 項目                    | 1年当たりの金額  | 60年間の金額      |
|-----------------------|-----------|--------------|
| 建設費                   | -         | 400,000 千円   |
| 大規模修繕費(30年で1回)        | -         | 100,000 千円   |
| 解体費                   | -         | 60,000 千円    |
| 維持管理費(水道代、設備保守、小修繕費等) | 70,000 千円 | 4,200,000 千円 |
| 合計                    | 70,000 千円 | 4,760,000 千円 |

※水泳指導料は含まない

表2-4-8 民間プールを活用した場合の必要経費(児童・生徒数300名の場合)

| 項目                   | 1年当たりの金額 | 60年間の金額    |
|----------------------|----------|------------|
| 委託料(施設利用、指導員費用等)15日間 | 3,450 千円 | 207,000 千円 |
| バス移動 2台 15日間         | 2,700 千円 | 162,000 千円 |
| 合計                   | 6,150 千円 | 369,000 千円 |

表2-4-9 民間プールを活用した場合の必要経費(児童・生徒数700名の場合)

| 項目                   | 1年当たりの金額  | 60年間の金額    |
|----------------------|-----------|------------|
| 委託料(施設利用、指導員費用等)30日間 | 6,900 千円  | 414,000 千円 |
| バス移動 3台 30日間         | 8,100 千円  | 486,000 千円 |
| 合計                   | 15,000 千円 | 900,000 千円 |



## 5 移動方法の検討

### (1) 徒歩移動

徒歩移動の場合は、学校外プールに安全に移動できる道路状況と移動距離が重要になります。歩行時間を10分程度とした場合には、学校からの道のりがおおむね600～700m以内の施設を候補として検討することが適当です。

また、700mを超える場合でもバスの一時停留場所や乗降にかかる所要時間を考えた際には、徒歩移動のほうが合理的な場合もあります。

### (2) バス移動

学校から700mを超える場合にはバスでの移動を検討する必要があります。検討に当たっては、学校周辺の道路状況が大きく影響し、学校敷地周辺までバスが乗り入れられない場合や、バスを一時停車させることが困難な場合も想定されます。その際には、バスが停車可能な場所まで徒歩で移動する必要があります。

また、学校外プール施設側に、バスが停車できる十分なスペースがない場合は、民間プール施設とバス乗降場所との間を徒歩で移動することになります。

なお、配車するバスのサイズや配車台数などは、一度に移動する児童数によって異なります。

### (3) 移動における安全面の課題

7月～9月中旬の炎天下での徒歩移動は、短い距離であっても熱中症の危険が伴うため、健康面での安全対策が必要です。また、横断歩道がない場合や見通しの悪い道路がある場合は、交通誘導員等の配置が必要です。さらに、バス移動の際には、児童の置き去り等を防止するための対策が必要です。

徒歩移動の場合でも、バス移動の場合でも、児童の安全を第一として様々な検討を行っていくことが重要です。





## 参 考 資 料

各学校から近隣のプール施設までの移動距離の例示です。例示施設は、各学校から直線距離で最も近い施設を例示しており、移動距離が最も短い施設ではありません。

利用に当たっては、プール施設の運営や学校からの移動手段を検討する必要があり、必ずしも当該プールを利用できるわけではありません。

■各小学校から学校外プールまでの移動距離（地区プールのある学校は省略）

| 学校名    | 近隣のプール施設(例示)         | 移動距離※    |
|--------|----------------------|----------|
| 八雲小学校  | セントラルフィットネスクラブ24自由が丘 | 約 350m   |
| 菅刈小学校  | コナミスポーツクラブ 目黒青葉台     | 約 380m   |
| 下目黒小学校 | 区民センタープール            | 約 150m   |
| 中目黒小学校 | 区民センタープール            | 約 1,500m |
| 油面小学校  | セントラルフィットネスクラブ24目黒   | 約 1,000m |
| 大岡山小学校 | 碑小学校屋内プール            | 約 900m   |
| 烏森小学校  | コナミスポーツクラブ 目黒青葉台     | 約 600m   |
| 向原小学校  | 碑小学校屋内プール            | 約 550m   |
| 鷹番小学校  | セントラルフィットネスクラブ24目黒   | 約 250m   |
| 田道小学校  | 区民センタープール            | 約 360m   |
| 月光原小学校 | コナミスポーツクラブ 碑文谷       | 約 800m   |
| 駒場小学校  | 駒場体育館プール             | 約 280m   |
| 原町小学校  | 碑小学校屋内プール            | 約 460m   |
| 不動小学校  | コナミスポーツクラブ 碑文谷       | 約 1,100m |
| 上目黒小学校 | 五本木小学校屋内プール          | 約 650m   |
| 東根小学校  | セントラルフィットネスクラブ24自由が丘 | 約 1,500m |
| 中根小学校  | 緑ヶ丘小学校屋内プール          | 約 700m   |
| 宮前小学校  | セントラルフィットネスクラブ24自由が丘 | 約 450m   |

※グーグルマップを利用して道のりを測定

■近隣に駐車場がある民間プール施設

| 施設名                  | バス降車場所と施設との距離                         |
|----------------------|---------------------------------------|
| セントラルフィットネスクラブ24目黒   | プール事業者の契約駐車場 約 150m<br>(マイクロバスのみ駐車可能) |
| セントラルフィットネスクラブ24自由が丘 | プール事業所内に駐車場あり<br>(マイクロバスのみ駐車可能)       |
| コナミスポーツクラブ 碑文谷       | バス事業者の契約駐車場 約 230m<br>(中型バスまで駐車可能)    |

## 第三章 学校プール施設整備の考え方

### 1 水泳授業に対する基本的な考え方

水泳授業は、バランスの取れた全身運動であり児童及び生徒の運動能力の向上、心身の健やかな成長や健康維持につながるものであると同時に、水辺環境において安全に行動する能力や、いざというとき水難事故から命を守るための能力を育むものです。さらに、泳ぐ能力の習得は、マリンスポーツなどを通じて自然と親しみ、人生をより豊かにすることにもつながります。

目黒区では、これらのことを踏まえ、学習指導要領に則り、区立学校における水泳指導を今後も継続していくことを基本とします。

### 2 民間事業者と連携した水泳指導

これまでの区立小中学校の水泳指導は、各学校に設置された屋外プールを使用し、教員が安全管理と実技指導を同時に行ってきました。中学校においては、生徒に一定の泳力が備わっていることや体育教員による指導のため大きな課題はありませんが、小学校においては、児童の泳力について個人差が大きく、水泳に関する教員の指導力にも差があるため、充実した水泳指導のためには、これまでの指導体制を見直す必要があります。

このような状況の中、民間事業者との連携は、インストラクターによる専門的な指導や少人数泳力別指導によって安全で質の高い水泳授業につながり、小学校における水泳指導の課題解決方法としては大きな効果が期待できます。

これらを踏まえ、今後、小学校の更新の際には、民間事業者との連携を目指して、次の3点を検討します。

- ①民間事業者が保有するプール施設を活用し、水泳指導を民間事業者に委託する。
- ②区立の地区プールを活用し、水泳指導を民間事業者に委託する。
- ③学校プールで、民間事業者と連携した授業を実施する。

ただし、民間事業者との連携は、各学校の状況に応じて検討すべき事項も多く、実施に関しては、より個別具体的な検討が必要となります。

### 3 学校におけるプール整備

#### (1)今後の学校施設更新におけるプール整備の考え方

目黒区の学校プールは、現時点で施設面における重大な問題はなく、当面は各学校において水泳指導を継続できる状況です。

しかし、今後の気候変動で、猛暑やゲリラ豪雨の日数が増えてくると、現状の屋外プールのままでは水泳授業を実施できない日がさらに増加する可能性もあります。

また、公共施設マネジメントの観点からは、学校プールにおいては使用頻度と維持管理コストのバランスから、各学校への設置について見直しを行う必要があります。

これらを踏まえ、今後、学校の水泳指導を継続していくためには、当面は、既存の学

校プールを活用しながら、学校施設更新の際には、民間事業者と連携した水泳授業の検討を行うとともに、学校プールの必要性を再検討し、地区プールや民間プールの活用、学校間の共用化を目指すこととします。

## (2)小学校

---

小学校では、令和4年度の試験実施の結果からも、学校外プールの活用には多くのメリットがあるといえます。しかし、これは各学校の周辺プール施設の状況や道路状況などの条件が整っていることが条件になります。

また、比較的児童数が多い学校（中目黒小学校、東根小学校、不動小学校、大岡山小学校）では、施設利用費や移動費用が小中規模校に比べ高額となる傾向があります。

これらのことから、小学校の施設更新時には、学校外プールの利用を進めることを基本とし、以下の視点を持って学校ごとに設置の適否を検討することとします。

- ①利用可能な学校外プール施設の状況
- ②学校から学校外プールへの移動方法
- ③学校外プール利用と自校プール設置とのコスト比較
- ④敷地条件（広さや高低差、建築条件等、道路状況）

なお、検討の結果、自校へのプール設置が適切と判断した場合には、天候などへの対策として日除けや屋根などの設置、維持管理における教員の負担軽減等について検討します。

## (3)中学校

---

中学校は教科担任制で、水泳指導については、1単位時間で男女別々に実施することが一般的であり、2時間連続などの変則的な時間割を組むことが難しい状況です。したがって、学校外プールへの移動時間の確保が困難であり、他自治体でも、継続的に学校外プール施設を利用している事例はほとんどありません。

これらのことから、中学校の授業で水泳指導を行う場合には、原則として敷地内にプールを建設することが必要と考えられます。ただし、施設管理や水質管理が教員の負担になっていることは小学校と同様であり、負担の軽減について検討する必要があります。

## (4)地区プールを併設している小学校

---

地区プール設置校は、当該プールを引き続き活用します。また、今後、学校施設更新が進むと他の学校による利用も検討していく必要もあります。ただし、地区プールの学校利用については、区民の利用を一定程度制限しなければいけないことから、十分な周知期間を設けて、区民の理解を得る必要があります。また、指定管理者との契約においても配慮が必要となります。

## (5)学校プールの共用化

---

民間事業者のプール施設だけでは学校水泳をすべて実施することは、現時点では困難です。民間事業者に対しては、さらなる連携・協力を求めていきますが、同時に学校間のプール共用化についても検討する必要があります。

ただし、現状の屋外プールでは、利用できる期間が少なく天候の影響も受けやすいことから、2校以上での活用は困難です。共用化に当たっては、日よけや屋根等、設備を充実させることで、利用できる期間を広げることが必要になります。

#### (6)学校プールを設置しないことによる敷地の活用

現在、学校に設置されている屋外プールは地上に設置されているものが多く、約600㎡の校地を用いています。屋上にプールを設置する場合においても、建築物として同様の面積が必要となります。

都心部の学校の多くは狭小な敷地であり、充実した校舎や広い校庭の確保に苦慮しているところであり、これは目黒区においても同様です。

プールを設置しないことによって、その副次的な効果として、校庭や校舎の充実を図ることができます。

## 4 教員の役割について

水泳指導は、学校教育の一環であり、授業の実施にあたっては、教員が主体的な役割を担うことが大切です。その上で、水泳授業の充実という観点から地域の人的・物的資源の活用についての検討が必要です。

教員にとっては、民間プール施設や地区プールなどの活用によってプール施設管理という負担を軽減することができますが、それによって生み出された時間を、子どもと向き合う時間に充てることが重要です。

また、民間事業者との連携においても、教員は子ども達の様子をよく観察し、生活面の指導や必要な声掛け、評価等を行っていくことは、これまでと変わりません。

## 5 学校にプールがないことへの対応

### (1)夏季水泳指導

水泳指導は学校カリキュラムの中で行うことを前提としており、授業時数の中で水泳技能の習得・向上を目指しています。

夏季休業日期間中の水泳教室（夏季水泳）は、水泳技能の習得・向上や子どもの居場所づくりという面で保護者からの期待もあり、令和4年度までは、各学校において5日程度の実施（任意参加）としていました。しかし、夏季水泳は、全児童を対象とした活動でないことから、年間指導計画等の学校カリキュラムの中に設定されていません。また、夏季休業期間は、教員が授業等の本来の業務に専念できるよう教員の資質・能力の向上に向けた研修日を確保したり、休暇取得促進等の働き方改革を推進したりするといった観点から、夏季水泳指導について今後の実施の在り方自体を見直す必要があります。

### (2)学校開放

コロナ禍以前は一部の学校において、地域が主体となって夏季休業期間中のプール開放をおこなっていました。現在は、コロナ禍の影響で、令和2年度からは緑ヶ丘小学校の小プールのみの実施となっており、実施にあたって必要な水泳指導員や監視員の確保

が年々難しくなっている状況もありますが、学校プールは、校庭や体育館と同様に地域での活用が期待される施設でもあります。

このような状況の中、プール設置の判断は学校だけの問題ではないため、学校にプールを設置しない場合には、地域や保護者への丁寧な説明が必要です。

### (3)災害時の生活用水等の確保

---

学校プールは災害時に生活用水としての役割が期待されています。学校プールを整備しない場合は、新校舎の地下ピット等を貯水槽として活用し、避難所運営等に支障がないよう、危機管理部防災課、消防署、地域（町会・自治会、自衛消防組織等）との調整が必要です。

## 6 建て替え工事中の水泳指導について

---

学校施設更新計画第一期（2030年まで）の取組対象校としては、駒場小学校、田道小学校、鷹番小学校、向原小学校、大岡山小学校、統合中学校2校、下目黒小学校等となっています。統合中学校については、既存のプールを活用することが可能ですが、その他の学校については、学校外プール施設での水泳指導を検討する必要があります。

向原小学校では、すでに民間プールを活用しており、建て替え工事中も建て替え後も、学校外プールを活用することになっていますが、他の学校においては、当該地に仮設校舎を建設して建て替える場合や、別敷地に仮移転して建て替える場合などが考えられ、それぞれの学校の状況に応じて、個別に検討しなければなりません。

また、実施に当たっては、設計の検討前の段階から試験実施等により課題を整理しておくことが重要となります。



## 【巻末資料】

### 参考資料1 学習指導要領(平成 29 年告示)からの抜粋

#### ■ 小学校

#### 第9節 体育

##### 第1 目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

##### 第2 各学年の目標及び内容

###### 〔第1学年及び第2学年〕

##### 1 目標

- (1) 各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。
- (2) 各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をする態度を養う。

##### 2 内容

###### D 水遊び

水遊びについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。
  - ア 水の中を移動する運動遊びでは、水につかって歩いたり走ったりすること。
  - イ もぐる・浮く運動遊びでは、息を止めたり吐いたりしながら、水にもぐったり浮いたりすること。
- (2) 水の中を移動したり、もぐったり浮いたりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3) 運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、水遊びの心得を守って安全に気を付けたりすること。

###### 〔第3学年及び第4学年〕

##### 1 目標

- (1) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発



達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。

- (2) 自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養う。また、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う

## D 水泳運動

水泳運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。
  - ア 浮いて進む運動では、け伸びや初歩的な泳ぎをすること。
  - イ もぐる・浮く運動では、息を止めたり吐いたりしながら、いろいろなもぐり方や浮き方をすること。
- (2) 自己の能力に適した課題を見付け、水の中での動きを身に付けるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3) 運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を付けたりすること。

〔第5学年及び第6学年〕

### 1 目標

- (1) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。
- (2) 自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。

### 2 内容

#### D 水泳運動

水泳運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付けること。
  - ア クロールでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと。
  - イ 平泳ぎでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと。
  - ウ 安全確保につながる運動では、背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く浮くこと。
- (2) 自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
- (3) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を配ったりすること。

### 3 内容の取扱い

(4) 内容の「D水泳運動」の(1)のア及びイについては、水中からのスタートを指導するものとする。また、学校の実態に応じて背泳ぎを加えて指導することができる。

### 第3 導計画の作成と内容の取扱い

2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

(6) 第2の内容の「D水遊び」及び「D水泳運動」の指導については、適切な水泳場の確保が困難な場合にはこれらを取り扱わないことができるが、これらの心得については、必ず取り上げること。

## ■ 中学校

### 第7節 保健体育

#### 第1 目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

#### 第2 各学年の目標及び内容

〔体育分野 第1学年及び第2学年〕

##### 1 目標

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

##### 2 内容

##### D 水泳

水泳について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、泳法を身に付けること。
  - ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐこと。
  - イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。
  - ウ 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐこと。

エ バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐこと。

- (2) 泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。
- (3) 水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ること。

### 〔体育分野 第3学年〕

#### 1 目標

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

#### 2 内容

##### D 水泳

水泳について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。
  - ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。
  - イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。
  - ウ 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。
  - エ バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。
  - オ 複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをすること。
- (2) 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。
- (3) 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。

#### 〔内容の取扱い〕

- (1) 内容の各領域については、次のとおり取り扱うものとする。
  - ア 第1学年及び第2学年においては、「A体づくり運動」から「H体育理論」までについては、全ての生徒に履修させること。その際、「A体づくり運動」及び「H体育理論」については、2学年間にわたって履修させること。

イ 第3学年においては、「A体づくり運動」及び「H体育理論」については、全ての生徒に履修させること。「B器械運動」、「C陸上競技」、「D水泳」及び「Gダンス」についてはいずれかから一以上を、「E球技」及び「F武道」についてはいずれか一以上をそれぞれ選択して履修できるようにすること。

(2) 内容の「A体づくり運動」から「H体育理論」までに示す事項については、次のとおり取り扱うものとする。

エ 「D水泳」の(1)の運動については、第1学年及び第2学年においては、アからエまでの中からア又はイのいずれかを含む二を選択して履修できるようにすること。第3学年においては、アからオまでの中から選択して履修できるようにすること。なお、学校や地域の実態に応じて、安全を確保するための泳ぎを加えて履修させることができること。また、泳法との関連において水中からのスタート及びターンを取り上げる。なお、水泳の指導については、適切な水泳場の確保が困難な場合にはこれを扱わないことができるが、水泳の事故防止に関する心得については、必ず取り上げること。また、保健分野の応急手当との関連を図ること。

※文中の項番号については、「学習指導要領(平成29年告示)」のとおりに記載している。

## 参考資料2 他自治体のプール検討等

### 1 参考事例

| 都道府県 | 自治体名 | 計画名等                           | 作成年度  |
|------|------|--------------------------------|-------|
| 東京都  | 葛飾区  | 今後の水泳指導の実施方法に関する方針             | 令和2年  |
|      | 府中市  | 学校施設の更なる活用と地域プールの見直しに係る基本方針    | 平成29年 |
| 愛知県  | 東海市  | 学校プールのあり方について                  | 平成30年 |
| 千葉県  | 佐倉市  | 佐倉市学校プール・市民プール再編に向けた調査         | 平成31年 |
|      | 君津市  | 小中学校における水泳指導とプール施設のあり方に関する基本方針 | 令和2年  |
| 埼玉県  | 上尾市  | 上尾市立学校の水泳授業及びプール施設のあり方基本方針     | 令和4年  |
|      | 志木市  | 志木市水泳指導のあり方基本方針                | 令和2年  |
|      | 羽生市  | 小中学校プール施設の今後のあり方について           | 令和2年  |

### 2 参考資料

「学校施設の集約化・共同利用に関する取組事例集」文部科学省(令和2年3月)  
 南学他「学校プールの共同利用と跡地活用の可能性」東洋大学 PPP 研究センター紀要、第6号  
 2016年3月  
 川上光宣他「学校体育における水泳指導に関する基礎的研究」神戸親和女子大学ジュニアスポーツ教育学科紀要 2018年2月







目黒区立学校のプール整備の考え方（令和5年3月）

編集・発行 目黒区教育委員会（学校施設計画課）

所在地 目黒区上目黒2丁目19番15号

電話 03-5722-9307